

平成 30 年度 第 3 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会

日 時：平成 31 年 3 月 6 日（水）19：00～20：50

場 所：北栄町中央公民館 2 階大研修室

1. 議事概要

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 経過報告

・資料1について説明した。

2月19日に広島県（道の駅 たかの・道の駅 舞ロード千代田）、島根県（道の駅 キララ多伎）の視察を14名で行った。計画立案から開設、運営までの苦勞、課題、工夫等をお聞きし、今後の検討に活かせる内容であった。

(4) 農業者アンケートの状況について

・資料2について説明した。

(5) 基本計画図（案）協議

・資料3について説明した。

今回は必要な機能・おおまかな規模について計画図案をお示しし、いただいたご意見については、今後の検討事項とさせていただきます。

(6) その他

(7) 閉会

2. 意見要旨

(1) 道の駅先進地視察（経過報告）について

・委員からの意見は特になし。

(2) 農業者アンケートの状況について

◇道の駅「北条公園」再整備後における農産物直売所への出荷意向を確認すると、75.7%の方が「いいえ」と回答しており、誠に寂しい限りである。また、この結果は、道の駅の再整備に期待している人が少ないこと、ならびに再整備に関するアピール不足を裏付けるものである。

◇道の駅への来訪者のみならず、農産物の出荷者に対しても魅力的な駅にしてもらいたい。

◇以前、テレビ番組で、過疎地域の高齢者が道の駅に農産物を出荷し、儲けている事例を見たことがある。その事例によれば、タブレット端末を用いた出荷システムを導入することによって、売れ残りが出ないように工夫していた。道の駅「北条公園」の再整備にあたっては、このような事例も参考になるのではないかと思う。

◇農産物に限定するのではなく、美味しいコーヒーやパンなどの販売にも積極的に取り組むべき（以前、町内でのイベント時に食べた「ぶどうパン」の味が忘れられない）。

◇北栄町には、葉物野菜の他にも、「生姜」等の魅力的な農産物があるので、これらの販売にも注力すべき。

◇道の駅「北条公園」は、施設の老朽化、施設更新の遅れ等が顕著であり、そのイメージがアンケート結果に大きく反映されているものとする。その一方で、先日視察した道の駅「たかの」は、綺麗な

店舗で、陳列も良く、従業員は明るく対応し、とても気持ちの良い道の駅であった。このため、町内の農産物生産者にも、このような好事例を直接視察してもらえば、出荷意欲の向上につながると思う。

(3) 基本計画図（案）について

【道の駅全体（南北エリア）に関する意見】

- ◇基本計画図を見ると、北エリアにも南エリアにも同じような施設が配置してある。南北エリアの施設があまり重複しないよう、メリハリのある配置構成とした方が良いと思う。
- ◇導入機能としては、南北エリアともに現行の基本計画図（案）の内容で良いと思う。
- ◇北エリアと南エリア双方の動線、出入り位置、信号の有無等が、本日の配布資料では十分に把握できない。
- ◇予算が限られているので、その範囲内で再整備に取り組み、施設を有効活用する必要がある。

【南エリアに関する意見】

- ◇トイレの規模が大きすぎるのではないかと。
⇒[事務局回答]：前面道路の計画交通量や立寄率等に基づき、トイレ利用人数、便器数を算定し、トイレ規模を設定している。
- ◇バックヤードには、店舗の事務室機能、簡易な会議スペース等が必要と考える。
- ◇キッズコーナーは利用時間が限られ、夕方以降は使用されないため、もったいない施設になる可能性がある。
- ◇道の駅「たかの」のように、夜間も活用できる「研修室」があれば便利である。
- ◇眺望機能を充実させるため、南エリアの建物を全体もしくは部分的に2階建てにしてみてもどうか。
- ◇日本海からの北風の影響を考慮すると、建物は南北方向に配置し、東側から出入りするのが良い。
- ◇南エリアの雨水排水処理対策について十分検討する必要がある。
- ◇南エリアに位置するトイレ・店舗は、老朽化や汚れが著しい（特にトイレは、洋式化への対応が遅れており、老朽化が進んでいる）。このため、まずは既存施設の部分改修に着手し、利用状況をモニタリングした上で、その結果を道の駅再整備に活かしてみてもどうか。

【北エリアに関する意見】

- ◇コンビニエンスストアは、南エリアよりも、オートキャンプ場が位置する北エリアに設置した方が良いのではないかと。
- ◇北エリアの既存店舗は取壊し、物販施設を南エリアに集約してみてもどうか。
⇒[事務局回答]：北エリアの既存店舗の建物は、オートキャンプ場の指定管理者及び南エリアの既存店舗の事業者の所有である。南エリアへの移設については、協議が必要である。
- ◇オートキャンプ場管理棟は、老朽化が顕著のため取壊すべき。
- ◇再整備にあたっては、建物周辺の既存舗装をできるだけ有効活用し、コスト縮減を図る必要がある。

【運営管理に関する意見】

◇出店事業者の選定について、既に町として案を用意しているかどうか確認したい。仮に案が無いようであれば、せっかく大きい費用を投じて再整備しても、その後の運営面が上手く進むか心配である。また、出店事業者の目途が立たないようであれば、再整備の内容を大掛かりな改修ではなく、現状施設の機能アップ程度の水準にとどめておく方法もある。

⇒[事務局回答]：町としては、道の駅「北条公園」の既存店舗経営者、指定管理者、意欲ある事業者等に聞き取り調査を行っている。今後は、事業者の意向等も踏まえながら、建築施設の詳細内容について検討していきたいと考えている。

◇南北エリアの施設を一体的に運営管理する予定か、あるいは店舗ごとに運営管理を任せる予定か。

⇒[事務局回答]：将来的には、南北エリアを一体的に運営管理していただけるような事業者を公募によって決定したいと考えている。なお、北エリアについては、現在の指定管理者、建物所有者との調整が必要になる。

◇町や店舗に対して自発的かつ積極的に発言できるようにするためには、運営管理を1社に任せるのではなく、株主組織のような仕組み・体制にすることが望まれる。

【今後の進め方等に関する意見】

◇道の駅全体をトータルでコーディネートできる専門家がいなければ、再整備に係る計画の良し悪しを判断するのは難しい。また、計画平面図のみでは具体的なイメージが湧きにくい。なお、専門家としては、「道の駅の整備・運営について豊富な経験や幅広い知識を持ち、コーディネート・プロデュース・マネジメント等の実績を有する者」、「道の駅の運営に実際に携わった経験のある事業者」などの参画が求められる。

◇建築施設の設計にあたっては、複数の建築事務所に公募し、その中から推奨プランを選定する方法が良い。

以上。

第3回 道の駅「北条公園」運営連絡協議会

日 時 平成31年3月6日（水）
午後7時から
会 場 北栄町中央公民館
2階 大研修室
北栄町土下112番地

1

2 あいさつ

3 経過報告

資料1

4 農業者アンケートの状況について

資料2

5 基本計画図（案）協議

資料3

6 その他

7 閉会

【事務局】

【担当】

北栄町産業振興課 農商工推進室

担当：松原、阪本

〒689-2292

住所：北栄町由良宿423番地1

TEL:0858-37-3153 FAX:0858-37-5339

E-mail : sangyo@e-hokuei.net

道の駅「北条公園」運営連絡協議会 委員名簿

氏名	関係機関等	備考
柿本 一夫	田井自治会	
加藤 武治	大野自治会	
瀨本 喜彦	弓原浜自治会	
北野 勝宏	北栄町商工会	
三好 秀康	北栄町観光協会	
景山 浩孝	国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所	
日置 健生	北栄町認定農業者協議会	
竹原 光余	公募委員	
徳田 恵理子	公募委員	
岡田 綾	北条小学校 PTA	
手嶋 俊樹	北栄町副町長	

事務局

氏名	所属・職名	
澁谷 潤	地方創生監	
手嶋 寿征	北栄町産業振興課 課長	
清水 直樹	北栄町産業振興課 農商工推進室 室長	
松原 丈久	北栄町産業振興課 農商工推進室 主幹	
阪本 知春	北栄町産業振興課 農商工推進室 主事	
吉岡 正雄	北栄町地域整備課 課長	
松本 裕実	北栄町観光交流課 課長	
下阪 啓二	北栄町農業委員会事務局 局長	

資料 1

2 経過報告

平成 27 年度

- ・ 3 月 道の駅「北条公園」運営連絡協議会設立準備会開催

平成 28 年度

- ・ 8 月 第 1 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
- ・ 1 月 第 2 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
- ・ 2 月 山陰道「北条道路」(はわい IC～大栄東伯 IC 間)都市計画決定

平成 29 年度

- ・ 4 月 道の駅「北条公園」再整備に係る土地所有者説明会
道の駅「北条公園」再整備に係る基本構想策定業務委託契約締結
- ・ 8 月 (株)PLANT 出店断念意向表明
道の駅「北条公園」再整備に係る基本構想再検討
- ・ 12 月 平成 29 年度第 1 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
道の駅「北条公園」再整備に係る土地所有者説明会開催
- ・ 3 月 平成 29 年度第 2 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催

平成 30 年度

- ・ 6 月 平成 30 年度第 1 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
- ・ 7 月 平成 30 年度第 1 回鳥取県幹線道路協議会「道の駅」推進部会
- ・ 8 月 道の駅「北条公園」再整備事業基本計画策定業務委託契約締結
- ・ 10 月 周辺道の駅聞き取り調査
- ・ 10 月 北栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂
- ・ 12 月 北栄町まちづくりビジョンの改訂
- ・ 1 月 平成 30 年度第 2 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催

- ・ 2 月 12 日 議会行政報告にて事業計画(案)説明
- ・ 2 月 19 日 県外視察(広島県:道の駅 たかの 道の駅 舞ロード IC 千代田
島根県:道の駅 キララ多伎)

資料 2

1. 農産物生産者・加工品生産者へのアンケート調査結果

1-1. アンケート調査の概要

<p>調査の目的</p>	<p>道の駅「北条公園」の再整備に向けて、北条町内の農産物生産者や加工品生産者を対象としてアンケート調査を実施し、農畜産物の生産・出荷に関する現状、道の駅「北条公園」への出荷意向等を把握することを目的とする。</p>
<p>調査時期</p>	<p>平成 31 年 2 月 5 日～2 月 21 日</p>
<p>調査方法</p>	<p>◇回収箱による調査（公共施設 5 箇所に設置：次頁 No. 1～5） ◇会場調査（各種総会において周知・回収：次頁 No. 6～11） ※今回のアンケートとりまとめには「回収箱による調査結果」を含んでいない。</p>
<p>調査票回収結果</p>	<p>◇回答者数：268 名 [平成 31 年 2 月 22 日現在] ・回答率：51.7%（配布者数：518 枚）</p>
<p>主な調査項目</p>	<p>◇農家形態、農業従事者数、営農類型 ◇販売金額の多い農畜産物 ◇農協への加入状況 ◇農畜産物の主な出荷先・出荷額 ◇道の駅「北条公園」への農畜産物の出荷意向 ◇道の駅「北条公園」における農産物直売所の施設運営に関する要望</p>

■調査票回収率の内訳

No	配布日	配置場所・会議	部会員	配布枚数	回収枚数	回収率(%)
1	2月1日	北栄町役場 大栄庁舎	-	30		
2	2月1日	北栄町役場 北条支所	-	30		
3	2月1日	鳥取中央農業協同組合 大栄支所	-	30		
4	2月1日	鳥取中央農業協同組合 北条支所	-	30		
5	2月1日	鳥取中央農業協同組合 北栄営農センター	-	30		
6	2月5日	北条支所ぶどう生産部通常総会	110	53	46	86.8
7	2月8日	大栄西瓜組合協議会通常総会	225	139	78	56.1
8	2月15日	大栄ぶどう部会通常総会	5	4	1	25.0
9	2月18日	長芋生産部通常総会	121	70	64	91.4
10	2月20日	北栄町ほうれん草部会通常総会	70	10	1	10.0
11	2月21日	らっきょう生産部通常総会	213	92	78	84.8
全体回収率			744	518	268	51.7

1-2. 調査結果集計

(1) 回答者の属性 [問1・2・3]

問1. あなたの性別をお答えください。

問2. あなたの年齢をお答えください。

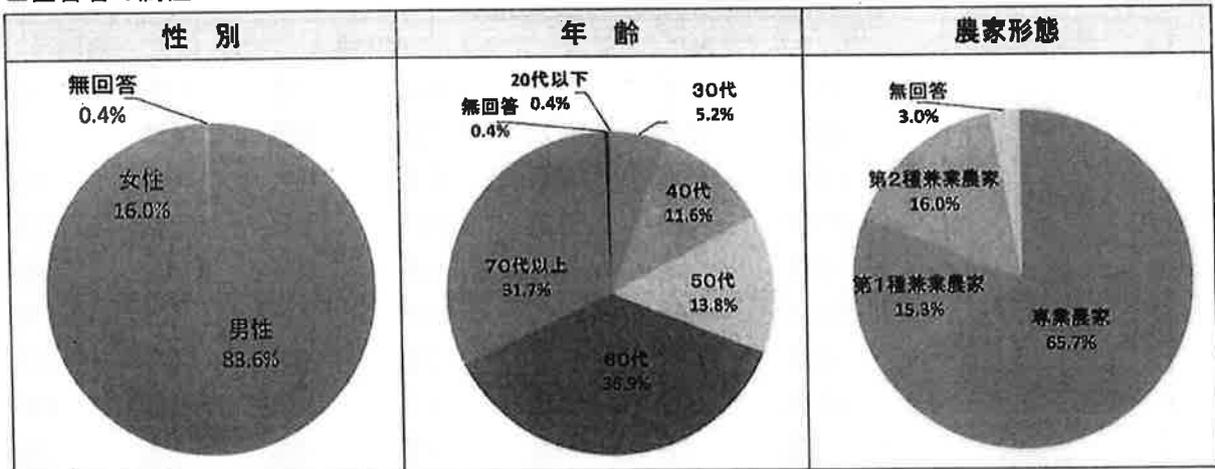
問3. あなたの農家形態についてお答えください。

◆性別：回答者の割合は、概ね「男性 8 : 女性 2」である。

◆年齢：「60 歳代」以上が7割を占める。

◆農家形態：「専業農家」が65.7%と最も多く、次いで「第2種兼業農家」（農業所得より、農業以外の所得の方が多い）（16.0%）、「第1種兼業農家」（農業以外の所得より、農業所得の方が多い）（15.3%）の順となっている。

■回答者の属性

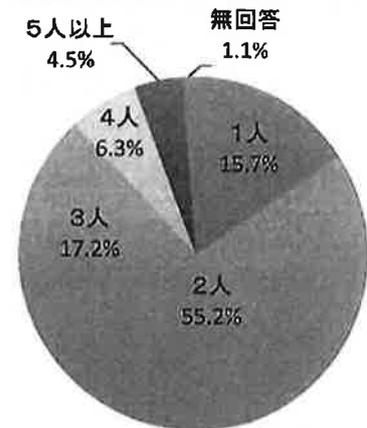


(2) 農業者・農業従事者の人数 [問4]

問4. あなたを含む農業者・農業従事者の人数をお答えください。

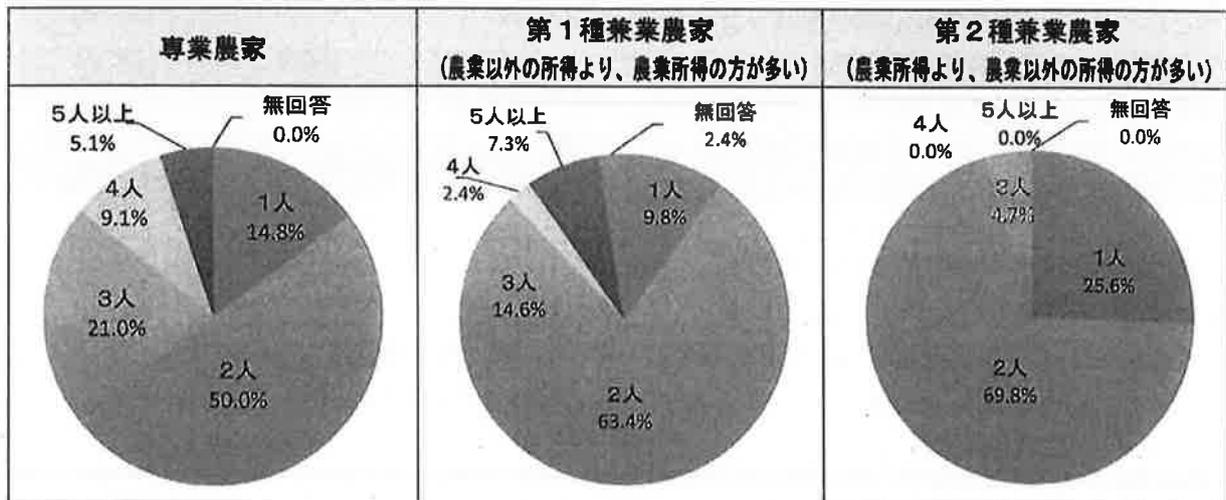
◆ 「2人」が55.2%で最も多く、「3人」(17.2%)がこれに続く。

- ・最も多いのは「2人」の55.2%であり、次いで「3人」(17.2%)、「1人」(15.7%)の順になっている。
- ・農業従事者が4人以上の割合は、全体の1割である。
- ・農家形態別では、「2人」の割合が「専業農家」→「第1種兼業農家」→「第2種兼業農家」の順で多くなっている。
- ・「専業農家」及び「第1種兼業農家」の最大従事者数は「5人以上」であるが、「第2種兼業農家」においては「3人」になっている。



■農業者・農業従事者の人数 [全体]

■農業者・農業従事者の人数 [農家形態別]



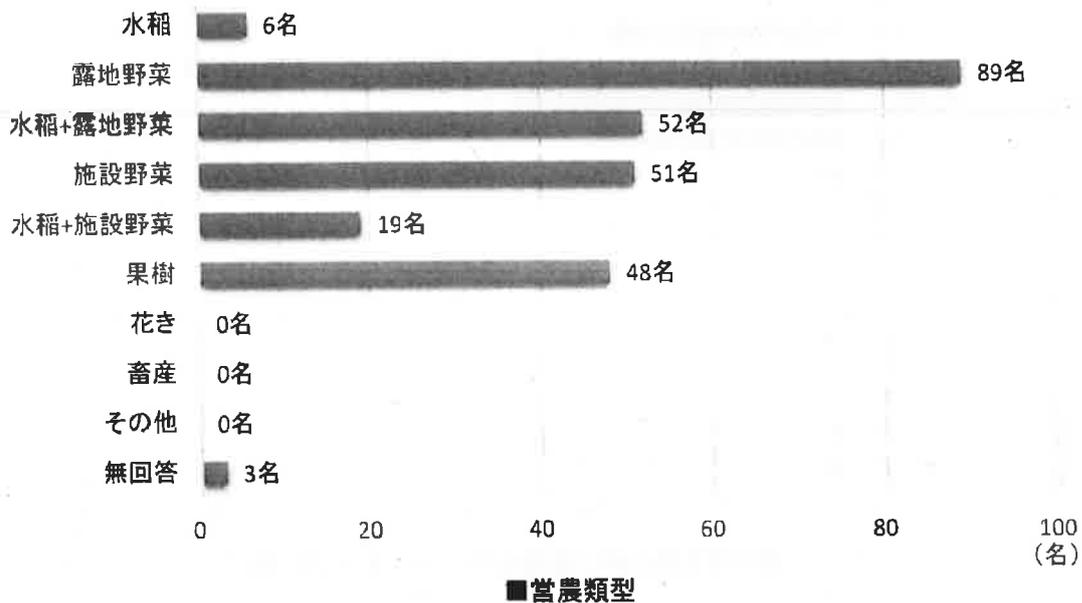
農業従事者	計	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	268名 100.0%	42名 15.7%	148名 55.2%	46名 17.2%	17名 6.3%	12名 4.5%	3名 1.1%
専業農家	176名 100.0%	26名 14.8%	88名 50.0%	37名 21.0%	16名 9.1%	9名 5.1%	0名 0.0%
第1種兼業農家	41名 100.0%	4名 9.8%	26名 63.4%	6名 14.6%	1名 2.4%	3名 7.3%	1名 2.4%
第2種兼業農家	43名 100.0%	11名 25.6%	30名 69.8%	2名 4.7%	0名 0.0%	0名 0.0%	0名 0.0%
無回答	8名 100.0%	1名 12.5%	4名 50.0%	1名 12.5%	0名 0.0%	0名 0.0%	2名 25.0%

(3) 営農類型 [問5]

問5. あなたの主な営農類型についてお答えください。

◆主な営農類型としては「露地野菜」が最も多く、「水稻+露地野菜」、「施設野菜」、「果樹」の順で続いている。

- ・回答者 268 名の内、最も多いのは「露地野菜」(89名)であり、「水稻+露地野菜」(52名)、「施設野菜」(51名)、「果樹」(48名)がこれに続く。
- ・「露地野菜」及び「水稻+露地野菜」の回答を合わせると 141 名であり全体の約半数 (52.6%) を占めている。
- ・「施設野菜」及び「水稻+施設野菜」とする回答は、全体の約 4 分の 1 (26.1%、70 名) である。
- ・「果樹」と回答した人の割合は、全体の約 5 分の 1 (17.9%、48 名) となっている。



(4) 販売金額の多い農畜産物 [問6]

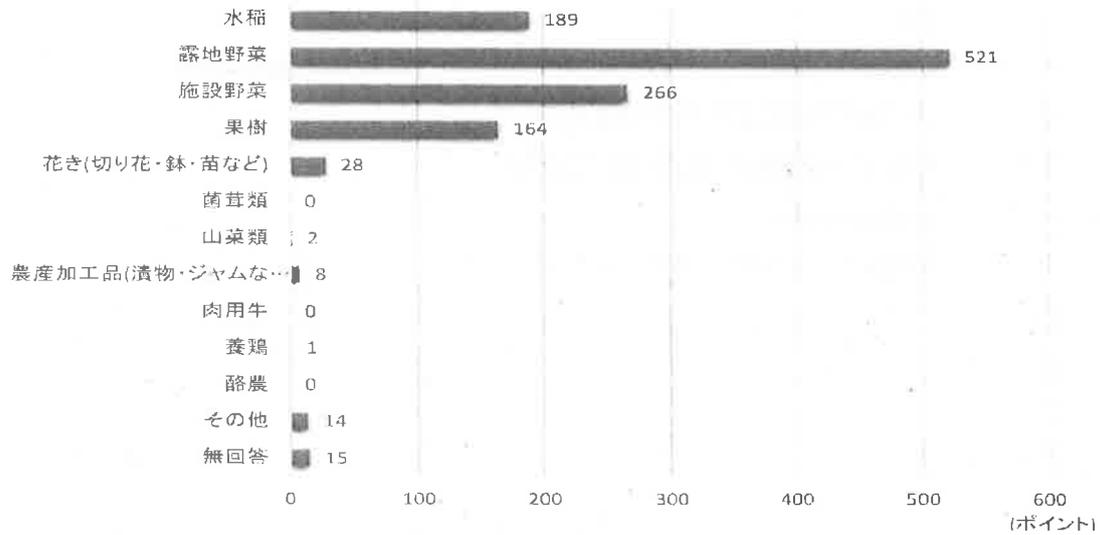
問6. 現在の農業所得で販売金額の多い順に3つまでお答えください。

- ◆ランキング評価によれば、最も販売金額が多いのは「露地野菜」であり、「施設野菜」、「水稻」、「果樹」の順で続いている。
- ◆第1位の得票数が最も多いのは、「露地野菜」(140票)であり、第2位は「施設野菜」(69票)、第3位は「果樹」(46票)となっている。

- ・販売金額のランキングにおいても、主な営農類型と同様に「露地野菜」が521ポイントと最も多い結果になっており、「施設野菜」(266ポイント)、「水稻」(189ポイント)、「果樹」(164ポイント)の順で続いている。
- ・その他の意見として、「芝」や「落花生」等があげられる。

■ランキング評価の算出方法

- ・「第1位」を3ポイント、「第2位」を2ポイント、「第3位」を1ポイントとして換算集計し、ランキングを算出した。



■販売金額の多い農畜産物 [ランキング評価]

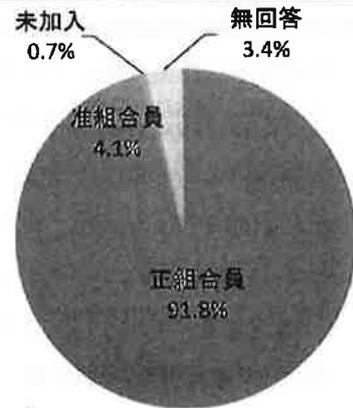
販売金額の割合	票数				構成比				ランキング評価 (ポイント)
	1位	2位	3位	合計	1位	2位	3位	合計	
水稻	7	61	46	114	2.6%	36.3%	67.6%	22.6%	189
露地野菜	140	48	5	193	52.2%	28.6%	7.4%	38.3%	521
施設野菜	69	28	3	100	25.7%	16.7%	4.4%	19.8%	266
果樹	46	12	2	60	17.2%	7.1%	2.9%	11.9%	164
花き(切り花・鉢・苗など)	0	12	4	16	0.0%	7.1%	5.9%	3.2%	28
菌茸類	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
山菜類	0	1	0	1	0.0%	0.6%	0.0%	0.2%	2
農産加工品(漬物・ジャムなど)	1	2	1	4	0.4%	1.2%	1.5%	0.8%	8
肉用牛	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
養鶏	0	0	1	1	0.0%	0.0%	1.5%	0.2%	1
酪農	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0
その他	0	4	6	10	0.0%	2.4%	8.8%	2.0%	14
無回答	5	0	0	5	1.9%	0.0%	0.0%	1.0%	15
合計	268	168	68	504	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	1208

(5) 農協への加入状況 [問7]

問7. 農協（JA）への加入状況についてお答えください。

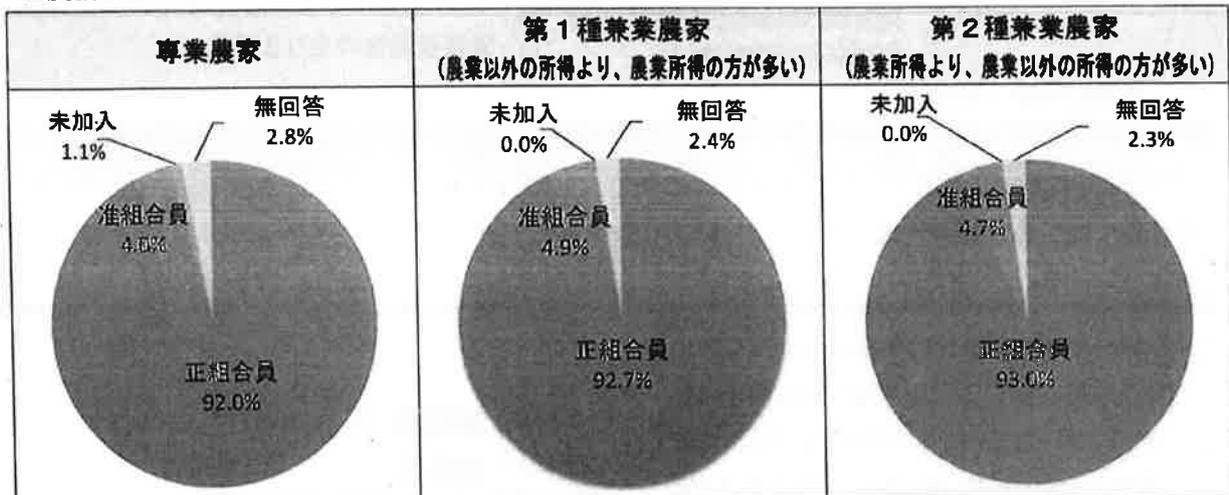
◆「正組合員」が全体の9割を占めている。

・いずれの農家形態（「専業農家」、「第1種兼業農家」、「第2種兼業農家」）においても、正組合員が9割以上を占めている。また、准組合員と合わせると、ほとんどが農協組合員となっている。



■農協への加入状況 [全体]

■農協への加入状況 [農家形態別]



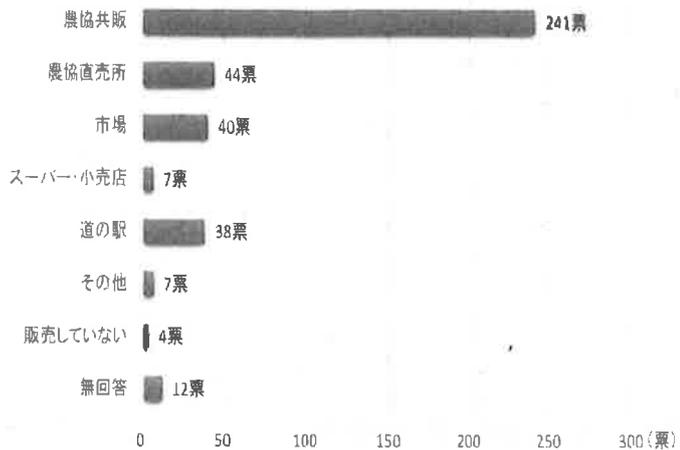
JA加入状況	計	正組合員	准組合員	未加入	無回答
全体	268名 100.0%	246名 91.8%	11名 4.1%	2名 0.7%	9名 3.4%
専業農家	176名 100.0%	162名 92.0%	7名 4.0%	2名 1.1%	5名 2.8%
第1種兼業農家	41名 100.0%	38名 92.7%	2名 4.9%	0名 0.0%	1名 2.4%
第2種兼業農家	43名 100.0%	40名 93.0%	2名 4.7%	0名 0.0%	1名 2.3%
無回答	8名 100.0%	6名 75.0%	0名 0.0%	0名 0.0%	2名 25.0%

(6) 農畜産物の主な出荷先 [問8]

問8. あなたが農畜産物を出荷している施設についてお答えください。

◆「農協共販」を出荷先とする回答が最も多く、次いで「農協直売所」、「市場」、「道の駅」の順となっている。

- ・出荷先を「農協共販」とする回答が全体の6割(241票)を占めている。
- ・「道の駅への出荷」は38票であり、全体の約1割(9.7%)である。
- ・その他の出荷先として、「小売り」「専門業者へ出荷」「個人消費者に販売」「共同乾燥調製施設」などがあげられる。



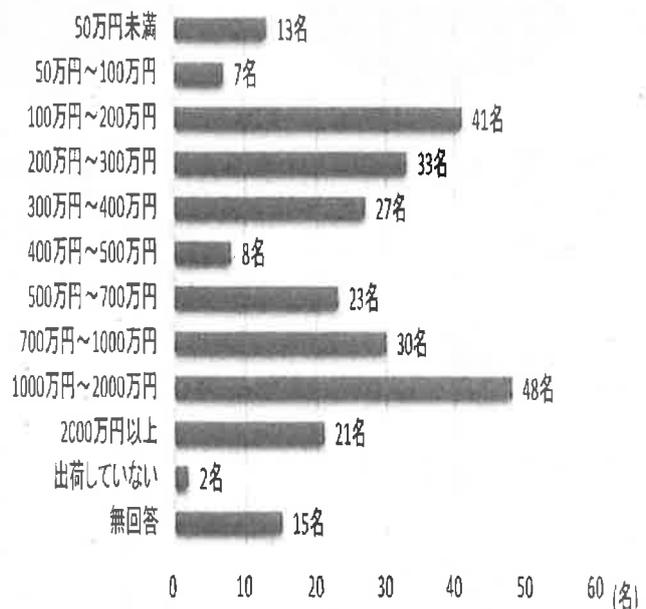
■農畜産物の主な出荷先

(7) 農業出荷額 [問9]

問9. 現在の農業出荷額(年間)をお答えください。

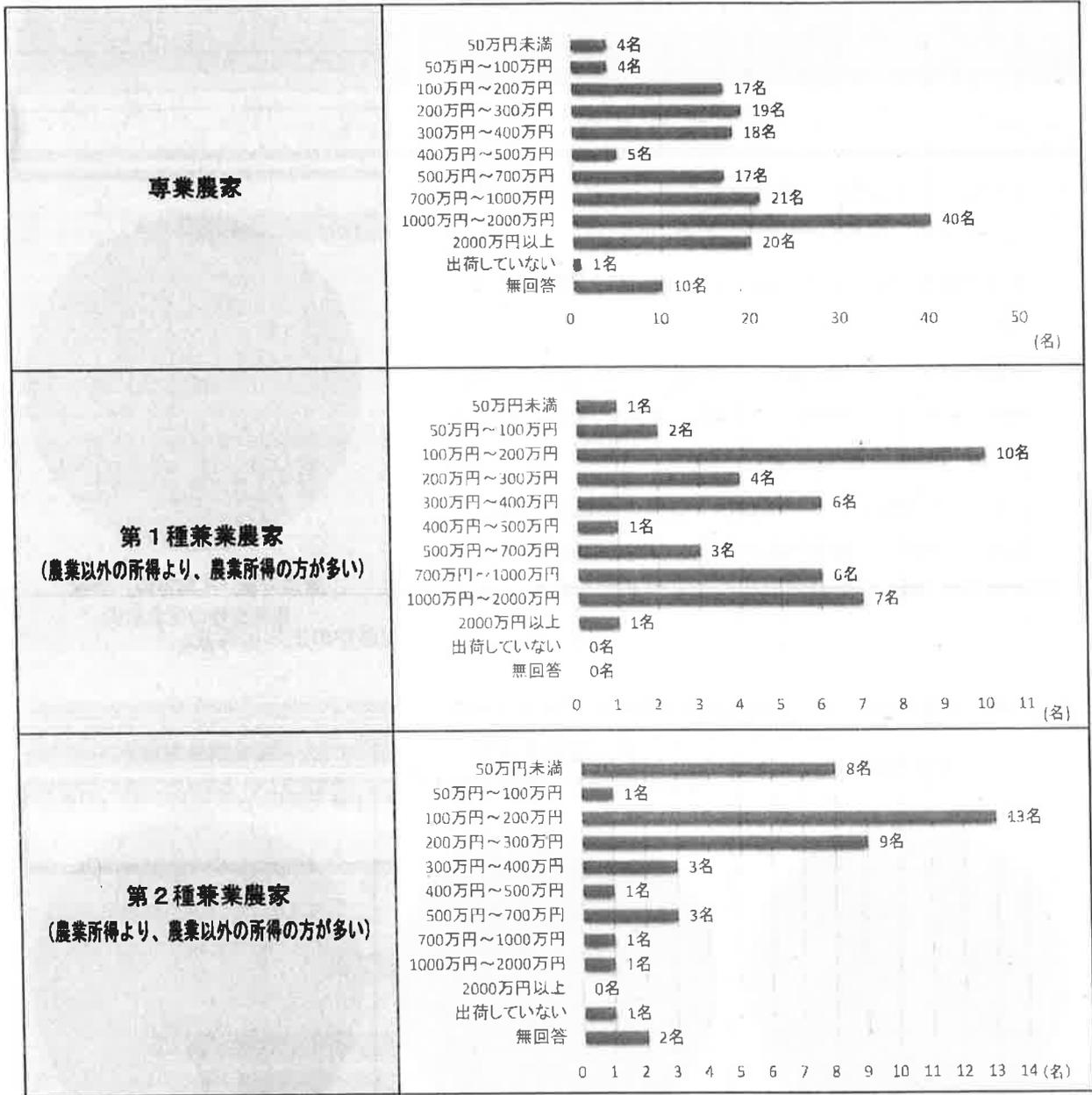
◆全体では「1000万円～2000万円」が48名で最も多く、次いで「100万円～200万円」が41名となっている。

- ・全体評価では、「1000万円～2000万円」(48名)が最も多く、「100万円～200万円」(41名)、「200万円～300万円」(33名)、「700万円～1000万円」(30名)、「300万円～400万円」(27名)の順で続いている。
- ・専業農家の場合「1000万円～2000万円」が最も多く、約2割(22.7%)を占めている。
- ・一方、第1種兼業農家、第2種兼業農家においては、「100万円～200万円」が最も多い結果を示している(第1種兼業農家:24.4%、第2種兼業農家:30.2%)。
- ・年間農業出荷額が500万円以上の割合は「専業農家」55.7%、「第1種兼業農家」41.4%、「第2種兼業農家」11.6%の順となっている。



■農業出荷額 [全体]

■農業出荷額 [農家形態別]



農業出荷額	計	50万円未満	50万円～100万円	100万円～200万円	200万円～300万円	300万円～400万円	400万円～500万円	500万円～700万円	700万円～1000万円	1000万円～2000万円	2000万円以上	出荷していない	無回答
全体	268名	13名	7名	41名	33名	27名	8名	23名	30名	48名	21名	2名	15名
	100.0%	4.9%	2.6%	15.3%	12.3%	10.1%	3.0%	8.6%	11.2%	17.9%	7.8%	0.7%	5.6%
専業農家	176名	4名	4名	17名	19名	18名	5名	17名	21名	40名	20名	1名	10名
	100.0%	2.3%	2.3%	9.7%	10.8%	10.2%	2.8%	9.7%	11.9%	22.7%	11.4%	0.6%	5.7%
第1種兼業農家	41名	1名	2名	10名	4名	6名	1名	3名	6名	7名	1名	0名	0名
	100.0%	2.4%	4.9%	24.4%	9.8%	14.6%	2.4%	7.3%	14.6%	17.1%	2.4%	0.0%	0.0%
第2種兼業農家	43名	8名	1名	13名	9名	3名	1名	3名	1名	1名	0名	1名	2名
	100.0%	18.8%	2.3%	30.2%	20.9%	7.0%	2.3%	7.0%	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	4.7%
無回答	8名	0名	0名	1名	1名	0名	1名	0名	2名	0名	0名	0名	3名
	100.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%

(8) 道の駅「北条公園」への農畜産物の出荷意向 [問 10]

問 10. 道の駅「北条公園」の再整備において、農産物直売所が新たに整備された場合、あなたは農産物を出荷したいと思いますか。

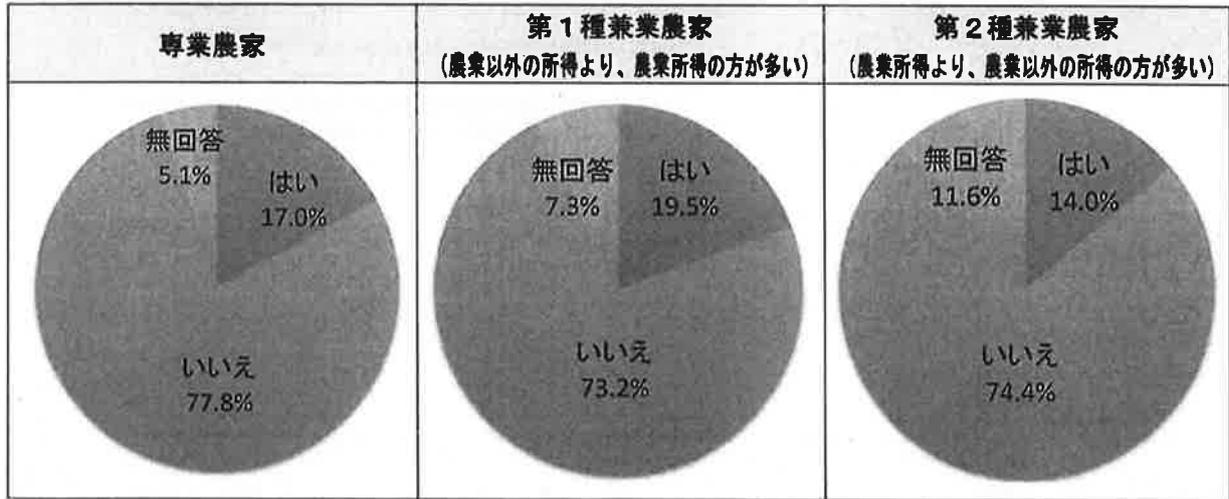
◆全体のおよそ4分の3にあたる75.7%が「いいえ」と回答している。

- ・道の駅「北条公園」の農産物直売所へ出荷したいと考えている方は、全体の16.8%である。
- ・農家形態別では、いずれも「いいえ」が7割を超えている。
- ・年齢別に見ると「30歳代」「50歳代」「60歳代」の約8割が「いいえ」と回答している。また、「40歳代」「70歳代」では約7割となっている。
- ・「はい」の理由として、「増収」「販路の多様化」「新しい施設への期待」「規格外品の出荷」「販売単価を高く設定できる」「新しい野菜の出荷」などがあげられる。



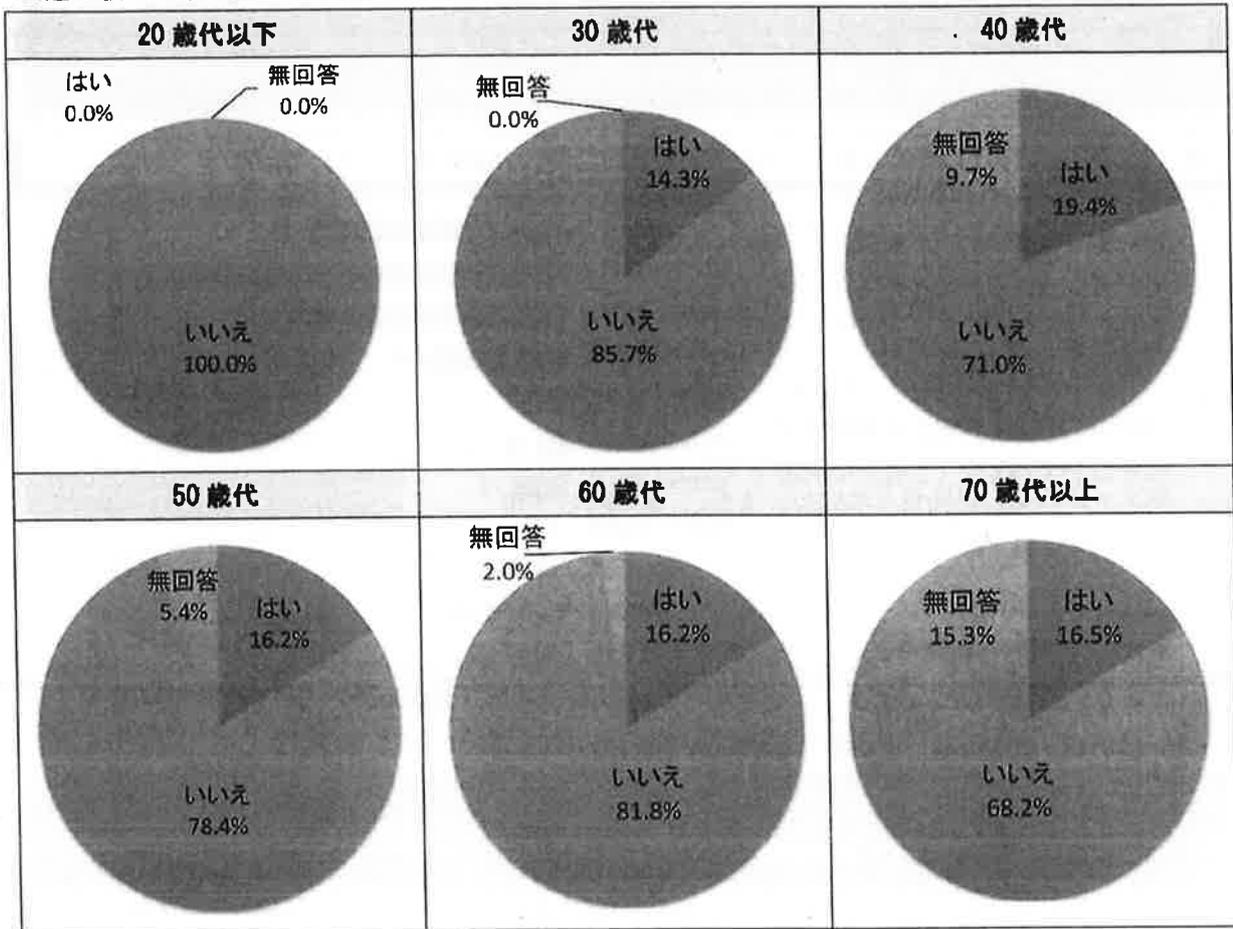
■道の駅「北条公園」への農畜産物の出荷意向 [全体]

■道の駅「北条公園」への農畜産物の出荷意向 [農家形態別]



出荷意向	計	はい	いいえ	無回答
全体	268名	45名	203名	20名
	100.0%	16.8%	75.7%	7.5%
専業農家	176名	30名	137名	9名
	100.0%	17.0%	77.8%	5.1%
第1種兼業農家	41名	8名	30名	3名
	100.0%	19.5%	73.2%	7.3%
第2種兼業農家	43名	6名	32名	5名
	100.0%	14.0%	74.4%	11.6%
無回答	8名	1名	4名	3名
	100.0%	12.5%	50.0%	37.5%

■道の駅「北条公園」への農畜産物の出荷意向 [年齢別]



出荷意向	計	はい	いいえ	無回答
全体	268名 100.0%	45名 16.8%	203名 75.7%	20名 7.5%
20歳以下	1名 100.0%	0名 0.0%	1名 100.0%	0名 0.0%
30歳代	14名 100.0%	2名 14.3%	12名 85.7%	0名 0.0%
40歳代	31名 100.0%	6名 19.4%	22名 71.0%	3名 9.7%
50歳代	37名 100.0%	6名 16.2%	29名 78.4%	2名 5.4%
60歳代	99名 100.0%	16名 16.2%	81名 81.8%	2名 2.0%
70歳以上	85名 100.0%	14名 16.5%	58名 68.2%	13名 15.3%
無回答	1名 100.0%	1名 100.0%	0名 0.0%	0名 0.0%

(9) 道の駅「北条公園」での売上げ期待額 [問 11]

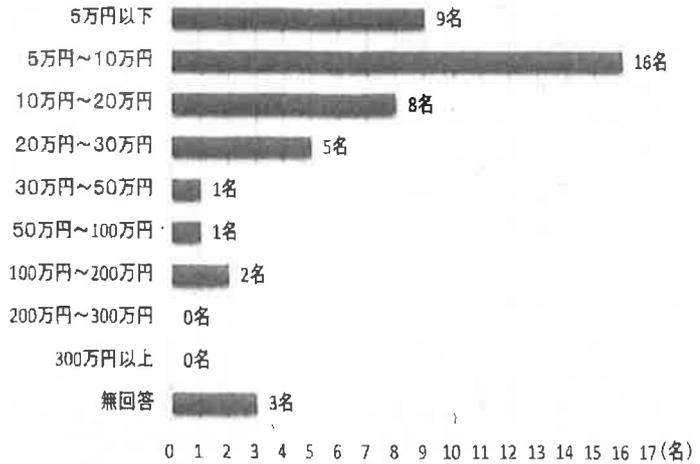
問 11. 問 10 で「はい」と答えた方にお聞きします。

道の駅「北条公園」に農産物直売所ができれば、1ヶ月間にどのくらい売上げたいですか。

◆「5万円～10万円」が最も多く、次いで「5万円以下」の結果となっている。

- ・売上期待額を「10万円以下」とする回答は全体の56%（25名）であり、「20万円以下」の場合73%（33名）にも及ぶ。

- ・「100万円以上」の売上を期待する回答はわずか4%（2名）である



■道の駅「北条公園」での売上げ期待額

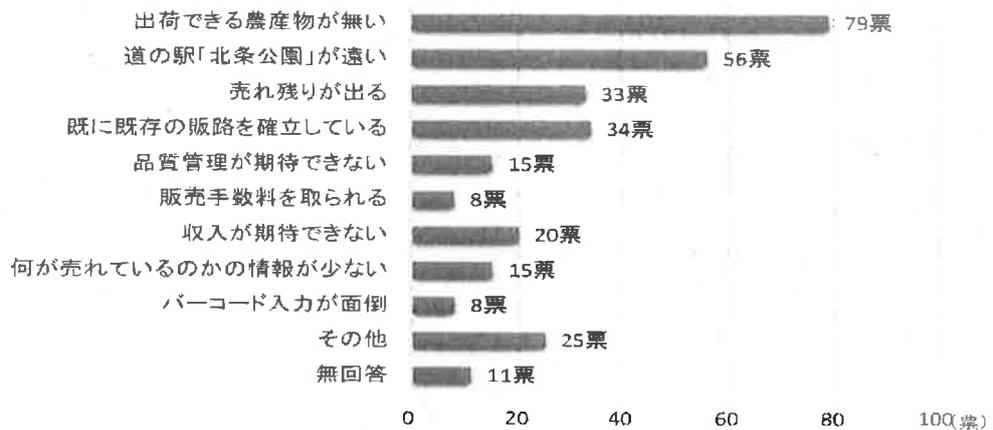
(10) 道の駅「北条公園」に出荷しない理由 [問 12]

問 12. 問 10 で「いいえ」と答えた方にお聞きします。

出荷したいと思わない理由を教えてください。

◆出荷しない理由として最も多いのは「出荷できる農産物が無い」であり、「道の駅「北条公園」が遠い」がこれに続く。

- ・出荷したいと思わない理由として、「出荷できる農産物が無い」（79票）、「道の駅「北条公園」が遠い」（56票）、「既に既存の販路を確立している」（34票）、「売れ残りが出る」（33票）が上位4件を占めている。
- ・その他の理由として、「手間が掛かり時間も無い」「高齢のため対応できない」「道の駅「大栄」の方が集客力があるので、そちらへ出荷する」「場所が悪い」「農家同士の競合になる」などがあげられる。



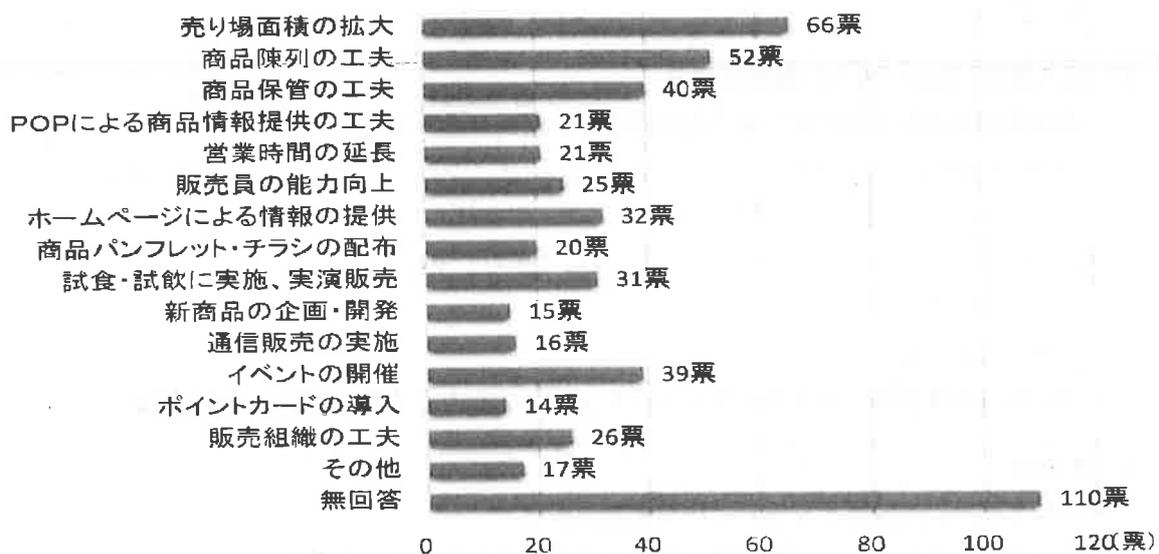
■道の駅「北条公園」に出荷しない理由

(11) 道の駅「北条公園」における農産物直売所の施設運営に関する要望等 [問 13]

問 13. 道の駅「北条公園」の農産物直売所について、施設運営に関する要望や今後工夫すべき点をお聞かせください。

◆「売場面積の拡大」に関する要望が最も多く、「商品陳列の工夫」、「商品保管の工夫」がこれに続いている。

- ・「売場面積の拡大」の他に、“商品の見せ方・品質に関する内容”（「商品陳列の工夫」、「商品保管の工夫」），“PR方法に関する内容”（「イベントの開催」、「ホームページによる情報提供」）が要望事項の上位を占めている。
- ・その他の意見として、「農協による窓口対応」「電子マネーの導入」「販売価格の決め方」「女性や子供が利用できる公園・カフェなどの設置」「場所が悪い」「道の駅の全体構想をしっかりとしてほしい」「素人店が多すぎる」「資金と時間の無駄」などがあげられる。



■道の駅「北条公園」における農産物直売所の施設運営に関する要望等

(12) 自由意見

農産物の生産・出荷、道の駅「北条公園」の再整備等について、他にご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

道の駅「北条公園」の再整備について、回答者から寄せられた自由意見を以下に整理する。

1) 他の道の駅との競合・立地条件に関する意見

- ・あまりに近い所に直売所が複数あるのはどうかと思う。道の駅「大栄」との共存は難しい。
- ・「北条公園」より「お台場公園」の近辺を整備した方が良い。
- ・周辺には道の駅が多数あるので、特色を生かして差別化し、戦略的に取り組むべき。
- ・「道の駅 大栄」との差別化のため、どちらか一方の直売所に重点的に力を入れるべき。中途半端なものを2か所造っても共倒れになる。道の駅「大栄」が好調なのは「青山剛昌ふるさと館」の集客によるものであり、直売所自体に魅力がある訳ではないことを理解しておく必要がある。また、道の駅「北条公園」では公園整備を重視し、道の駅「大栄」は直売所の改善に力を入れるべき。

2) 導入施設・魅力づくりに関する意見

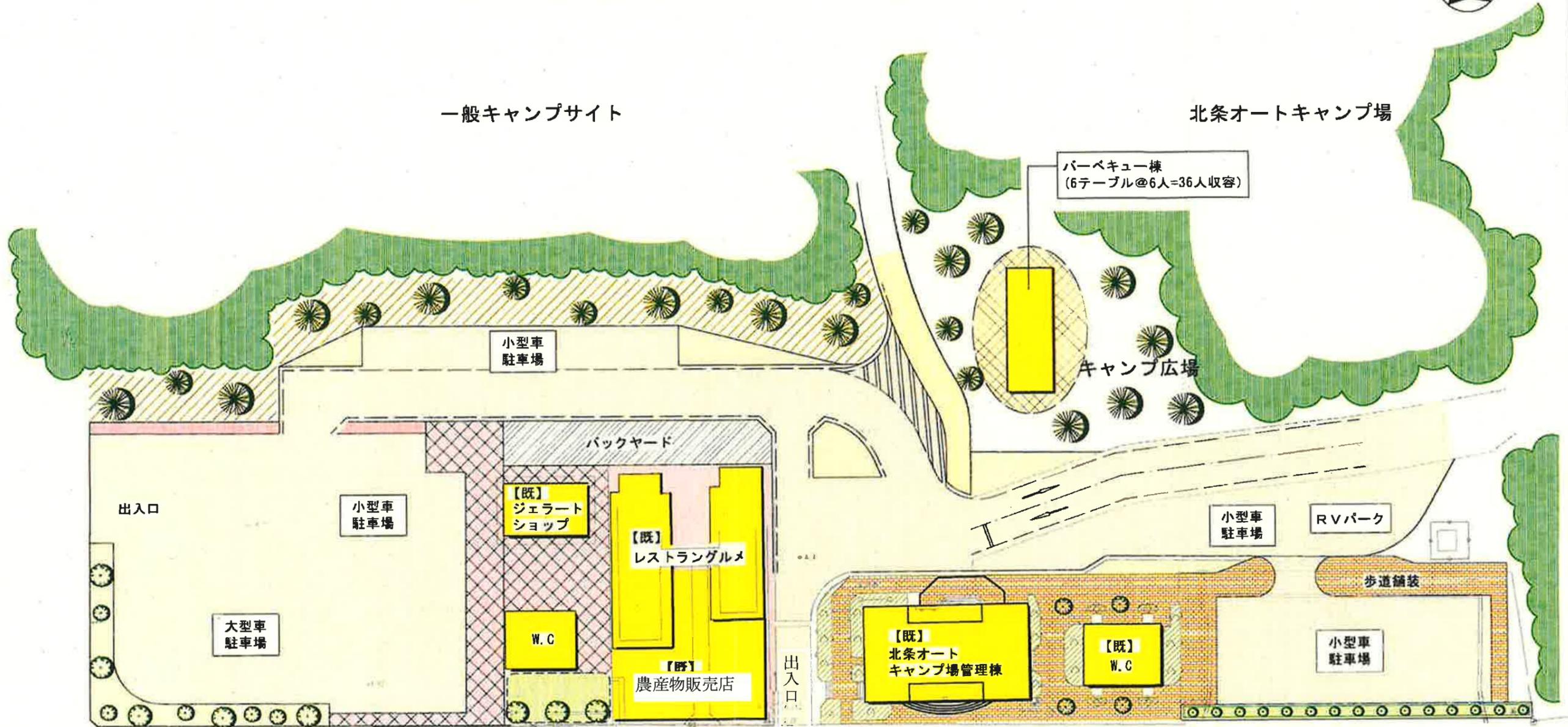
- ・農産物直売所も大切だが、遊べる公園などの施設も造ってほしい。
- ・道の駅の滞留人口が増えるような施策を望む。メインはワイン用のぶどう団地5haを含むワイン工房とし、松林の活用も重要。
- ・「北条ぶどう」のブランドアピールの場として活用してほしい。
- ・砂丘で採れた品物中心で販売すべき。
- ・進物品を多く販売してもらいたい。
- ・道の駅「北条公園」の直売所はインパクトに欠けるので、更なるアピールを望む。

3) その他

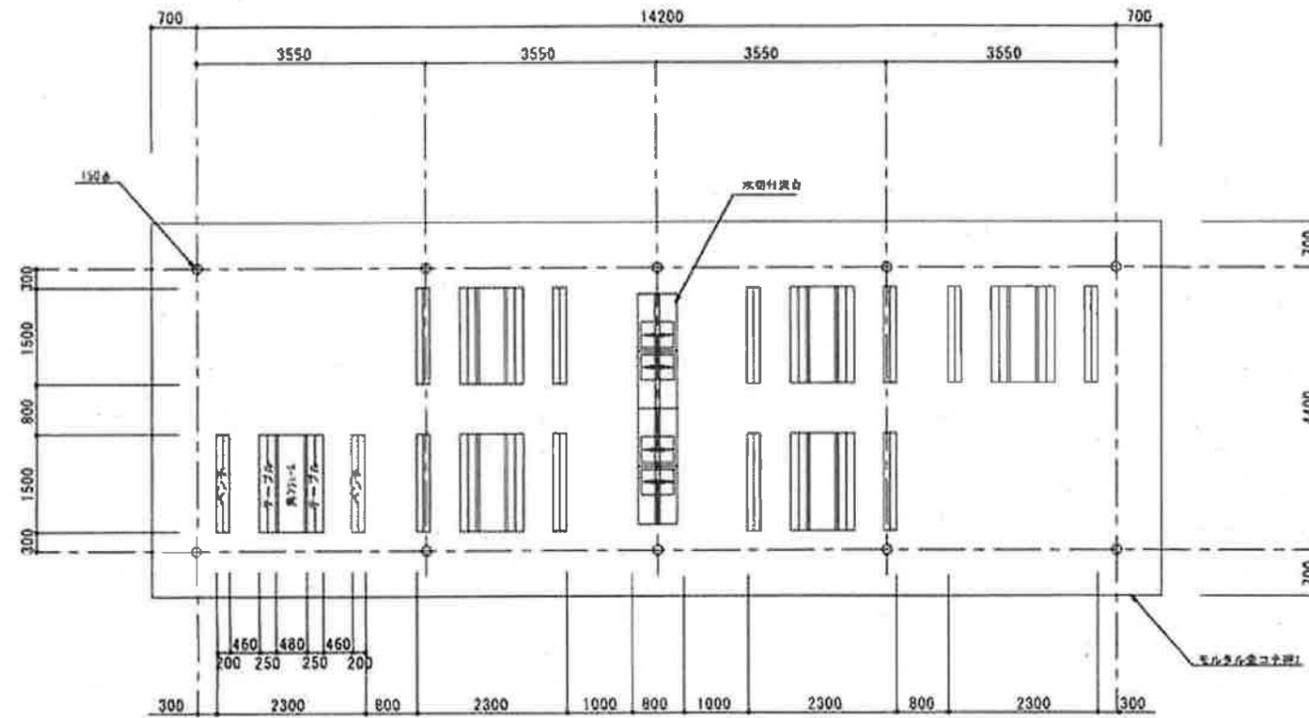
- ・県の景観条例の見直しを求めていく必要がある。
- ・道の駅「北条公園」の再整備等に関する計画自体を無くすべき。

資料 3

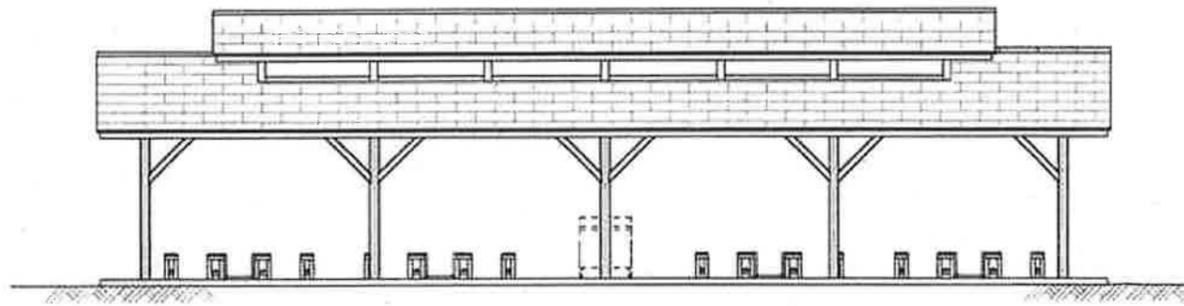
【道の駅北条公園-北エリア 基本計画図(案)】



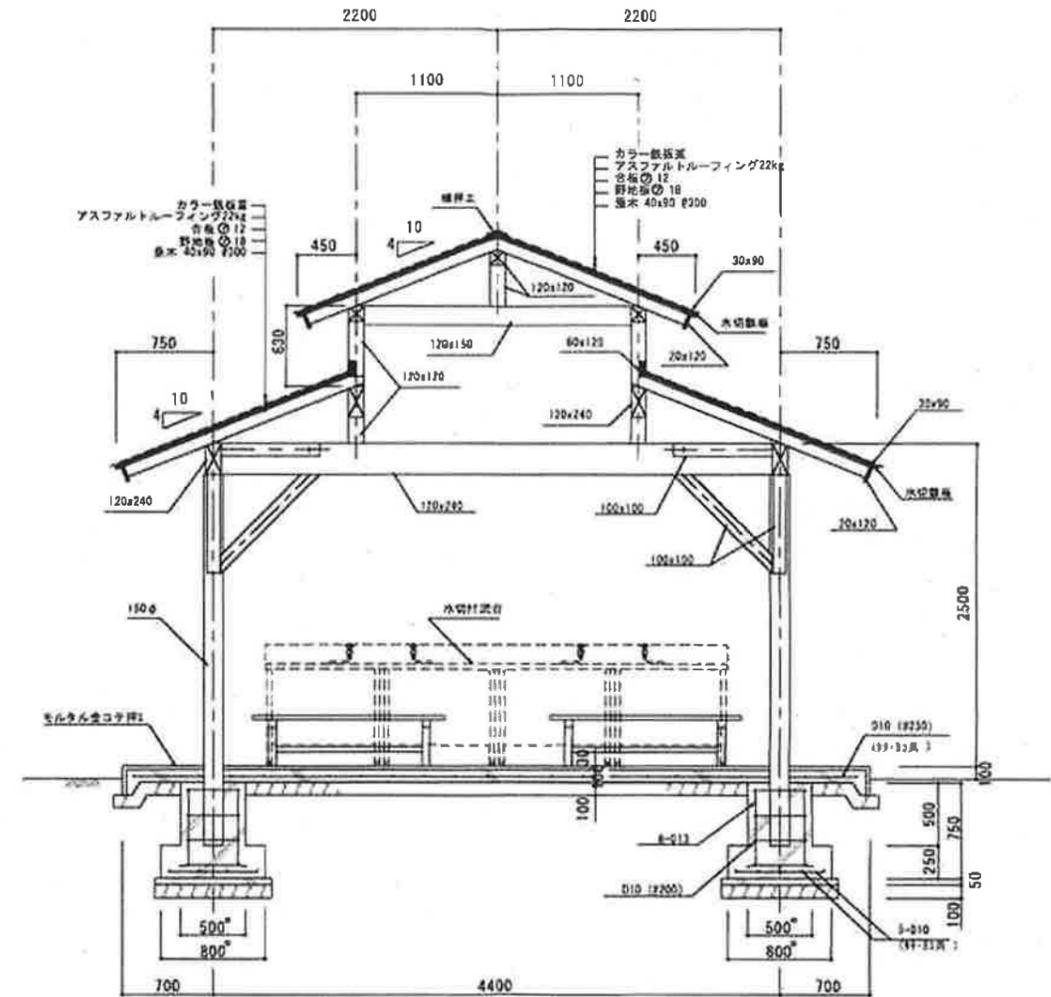
本資料は大まかな計画図(案)を示したものであり、具体的な施設の配置、面積等については、引き続き検討を行います



平面図 S=1/100

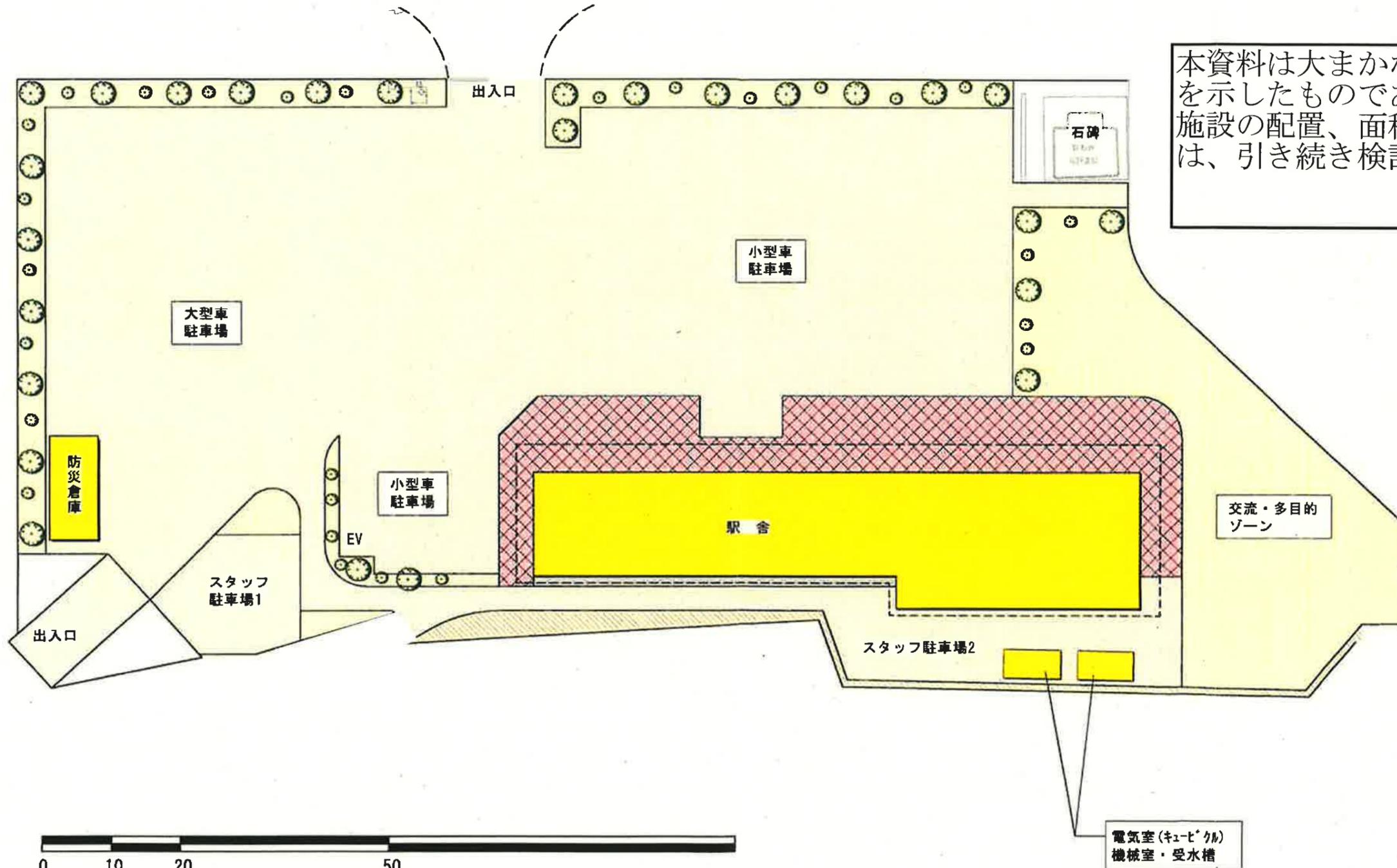


立面図



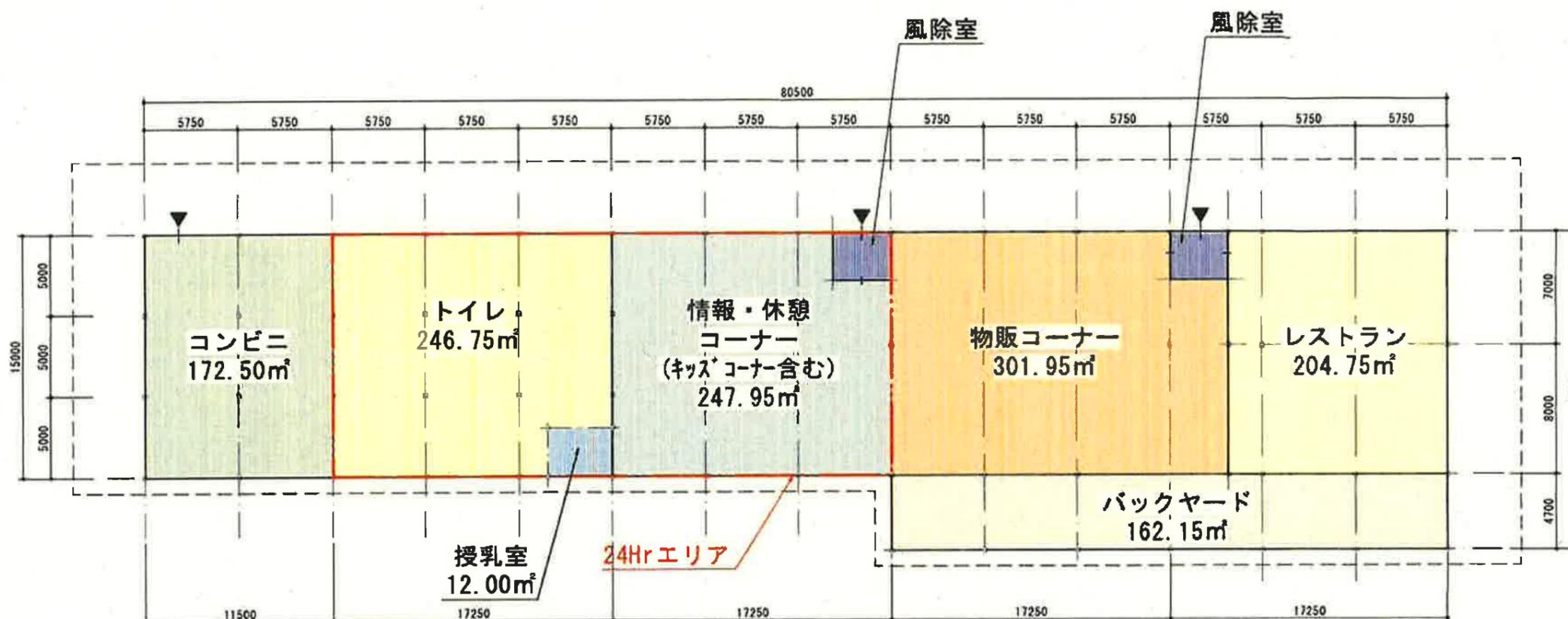
矩計図 S=1/50

【道の駅北条公園-南エリア 基本計画図(案)】



本資料は大まかな計画図(案)を示したものであり、具体的な施設の配置、面積等については、引き続き検討を行います。





1 階 平 面 図

本資料は大まかな計画図（案）を示したものであり、具体的な施設の配置、面積等については、引き続き検討を行います

	24Hrエリア	それ以外
建物床面積 1 F	1,369.65㎡	(517.50㎡)
	(517.50㎡)	(852.15㎡)



【道の駅北条公園-南エリア 道の駅建築配置計画（施設計画平面図）（案）】